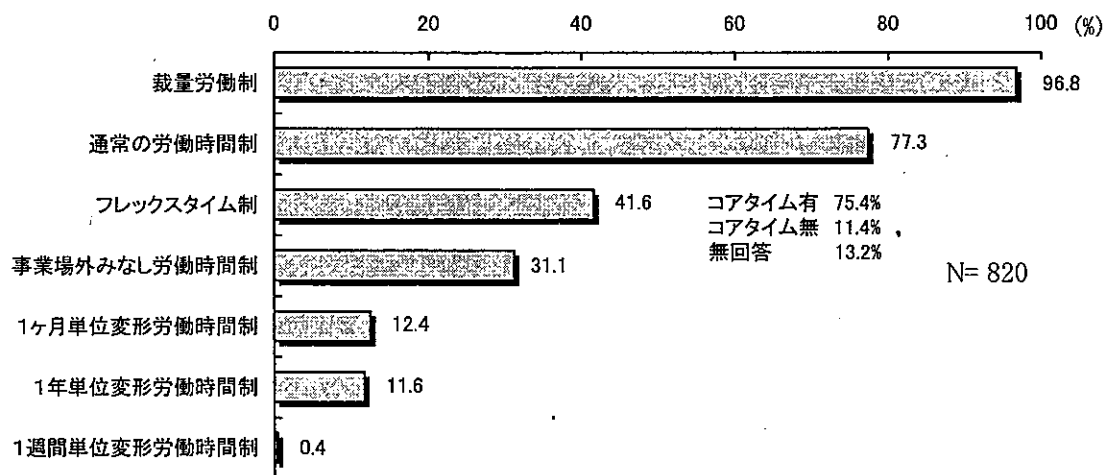


Ⅲ アンケートの結果

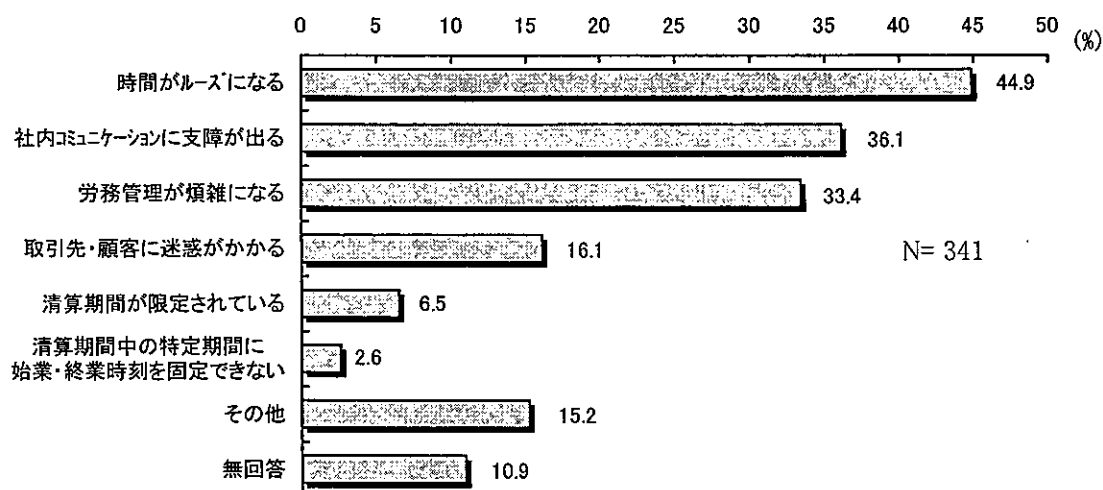
1 導入事業場

【Ⅰ 労働時間制度】

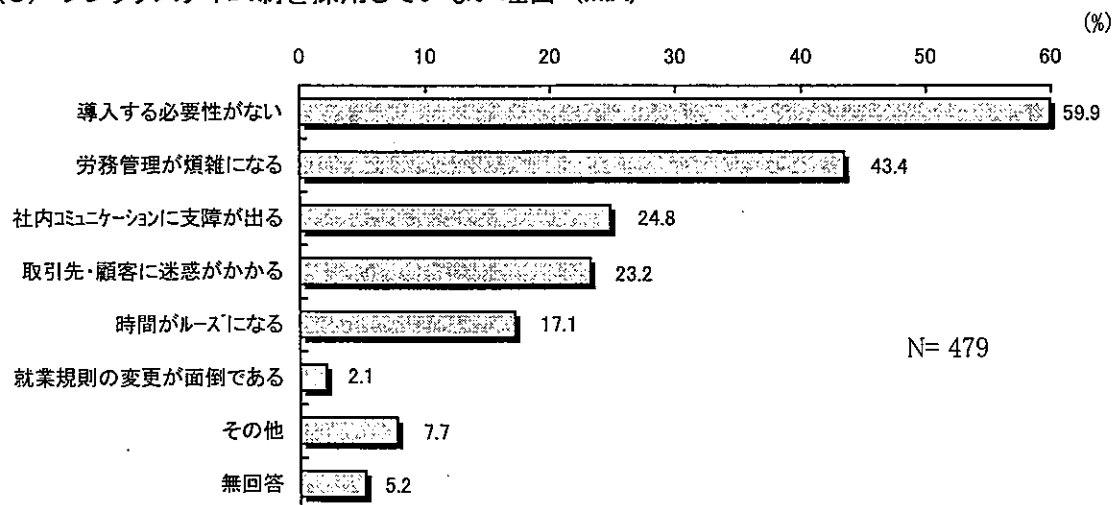
1(1) 採用している労働時間制度 (M.A)



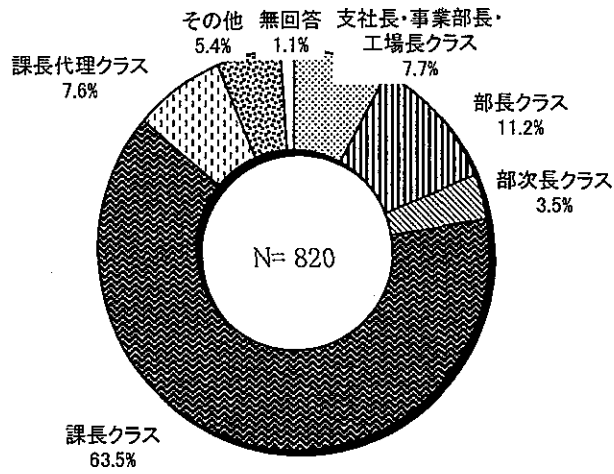
1(2) フレックスタイム制の問題点 (M.A)



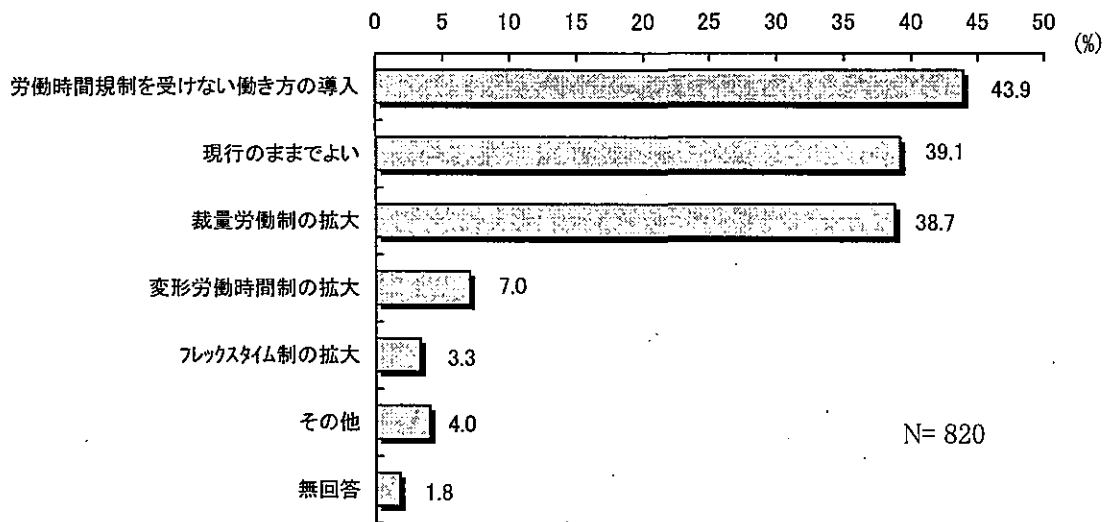
1(3) フレックスタイム制を採用していない理由 (M.A)



2 管理監督者の職位

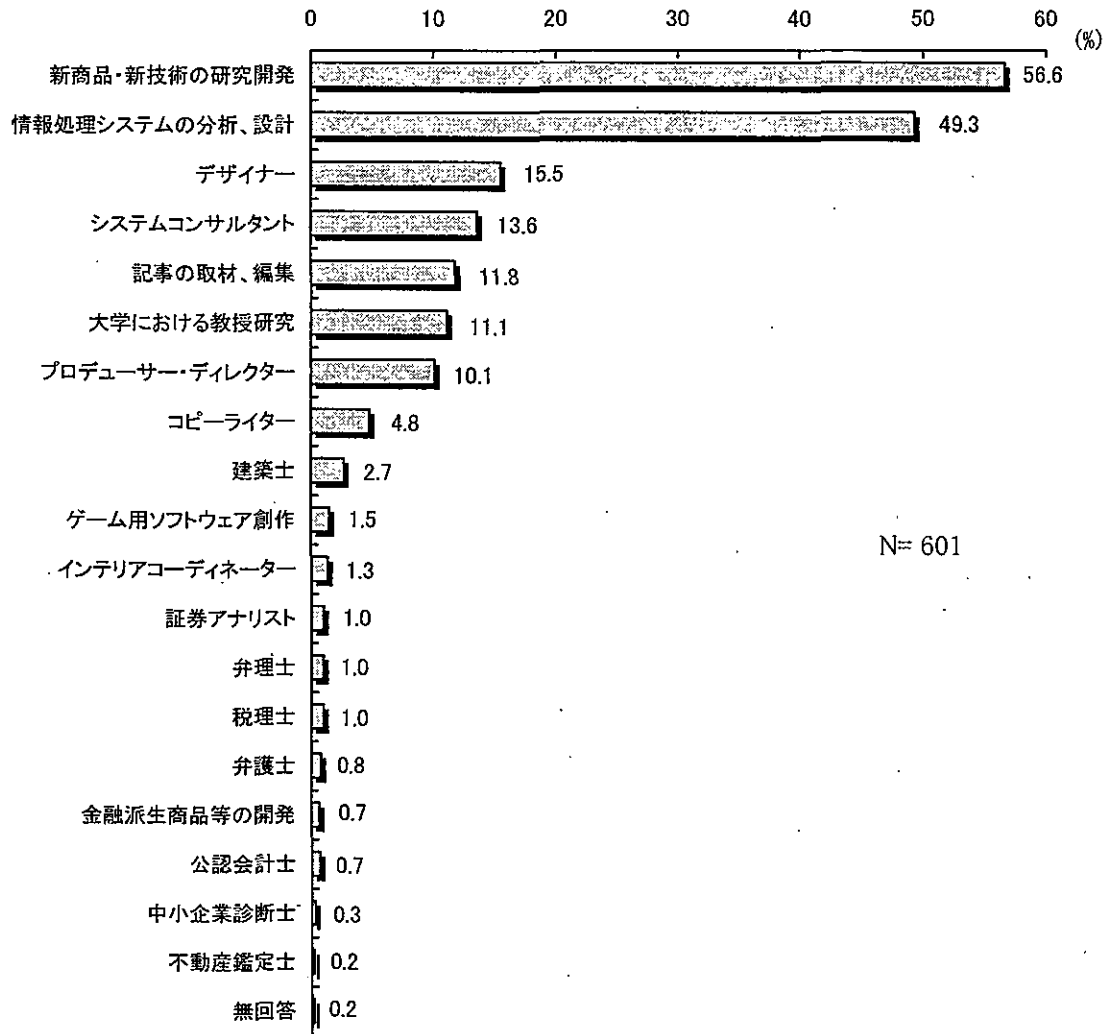


3 今後の労働時間管理の在り方についてどう考えるか (M.A)

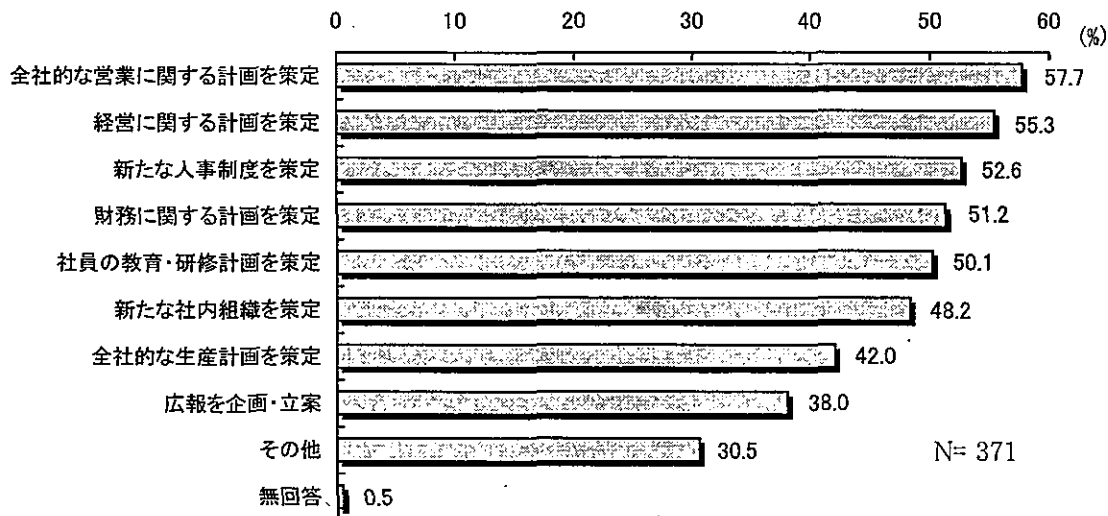


【Ⅱ 裁量労働制】

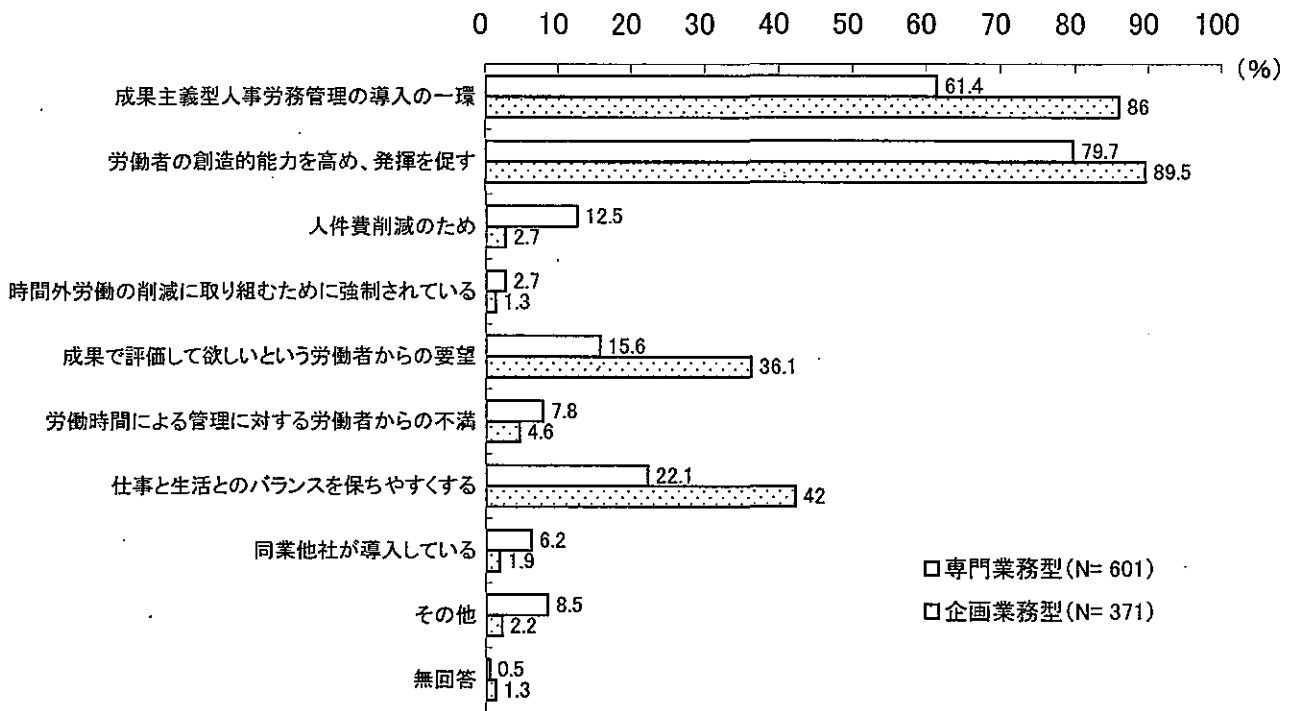
1 制度の対象としている業務 (M.A) [専門業務型]



2 制度の対象としている業務 (M.A) [企画業務型]



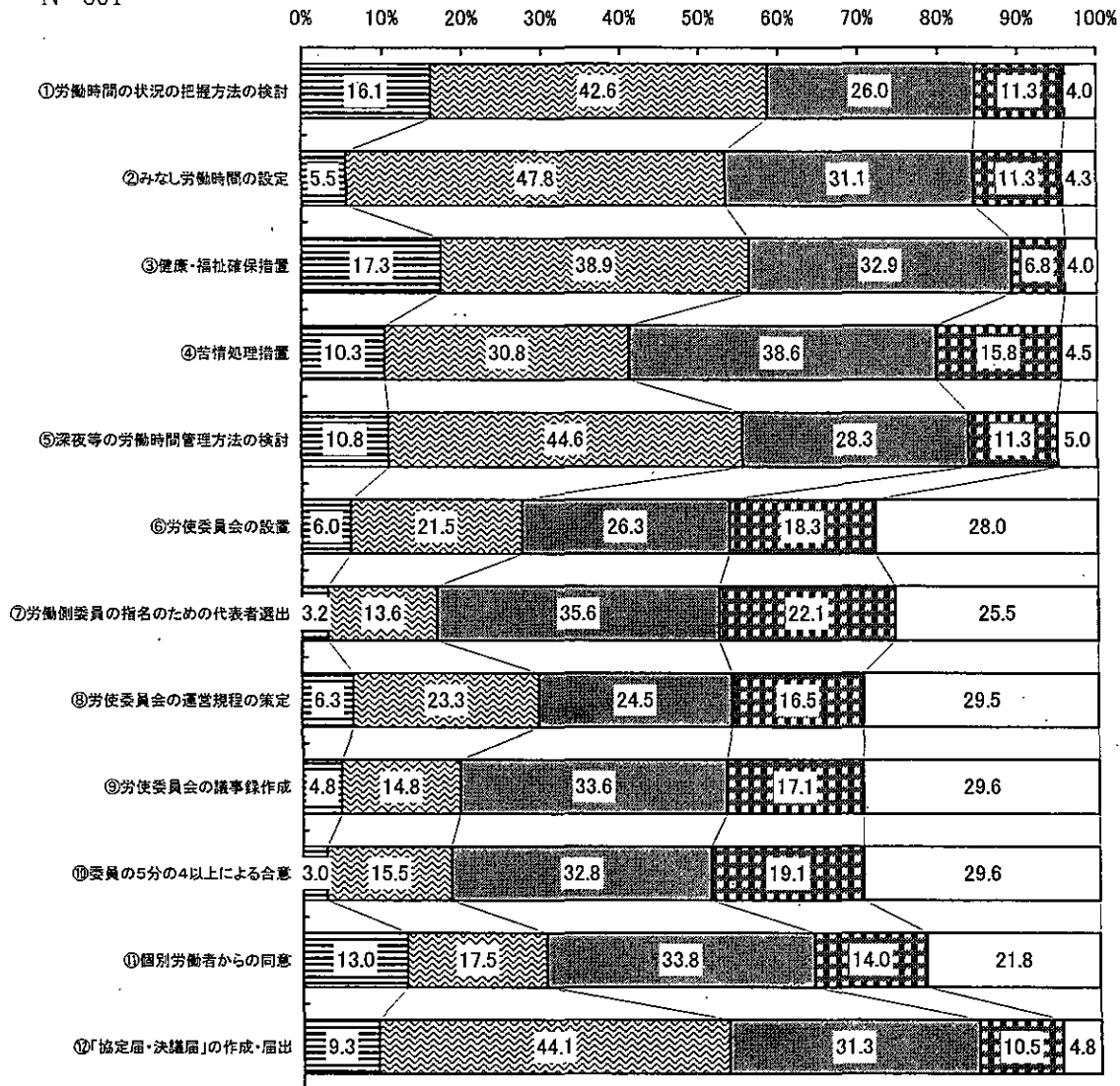
3 裁量労働制を導入したきっかけ (M.A)



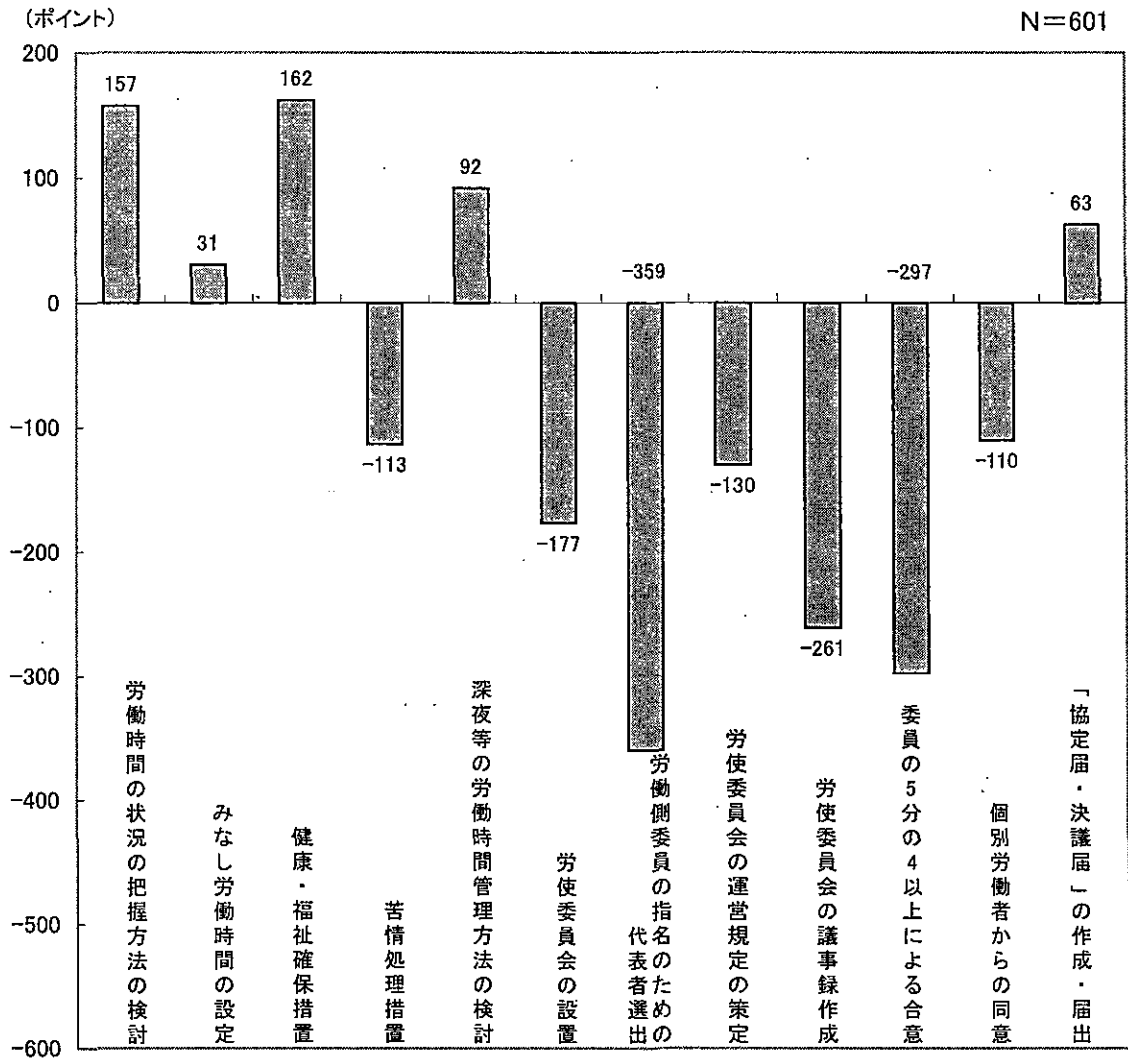
4 手続についてどの程度負担に感じたか [専門業務型]

■ 目かなり感じた ■ ある程度感じた ■ あまり感じなかった ■ ほとんど感じなかった □ 無回答

N= 601



5 専門業務型裁量労働制導入手続の煩雑度 [専門業務型]

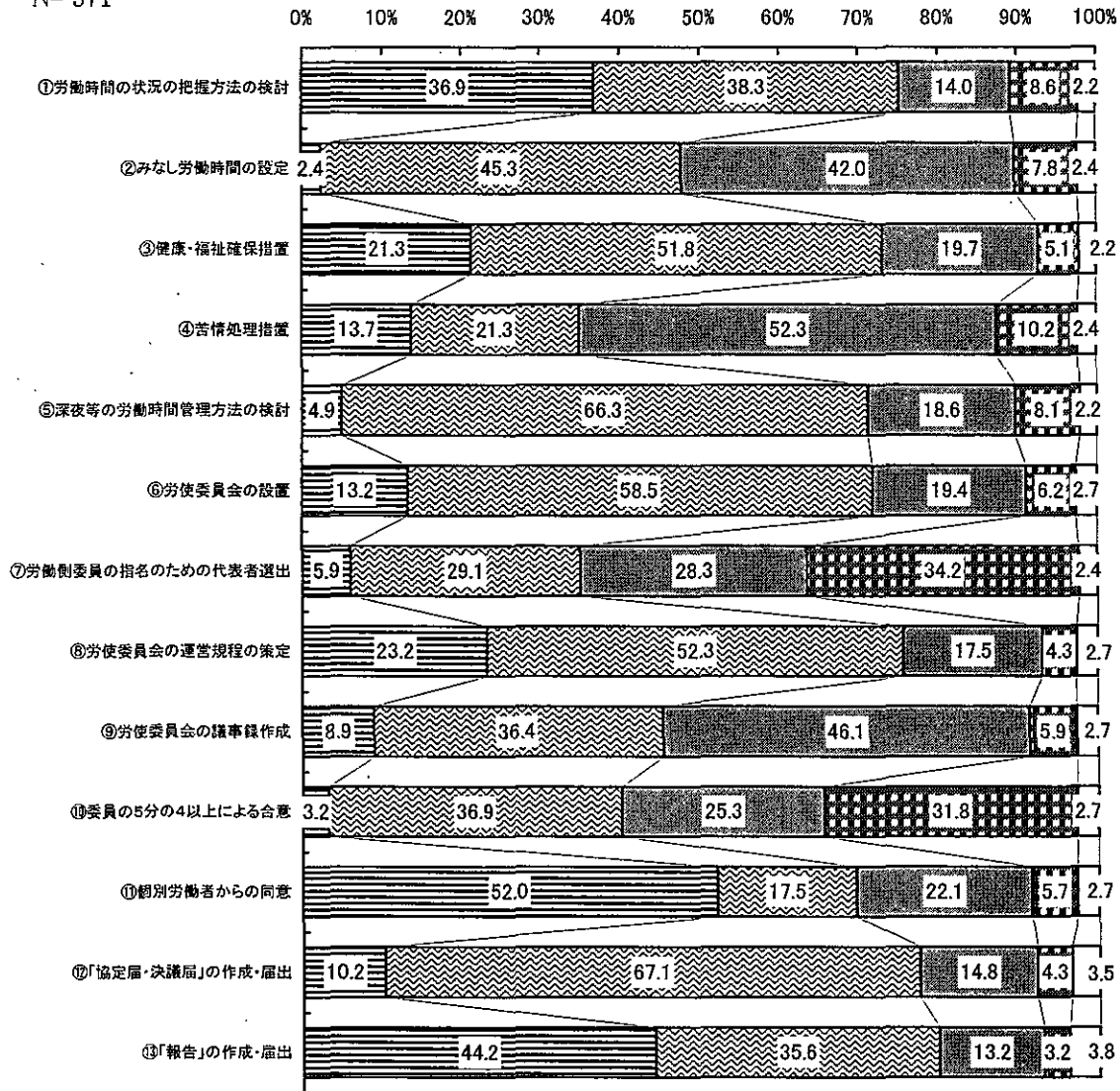


(注)煩雑度＝手続についての負担を「かなり感じた」事業所数×2+「ある程度感じた」事業所数
 -「あまり感じなかった」事業所数-「ほとんど感じなかった」事業所数×2とした

6 手続についてどの程度負担に感じたか [企画業務型]

目かなり感じた ◻ ある程度感じた ◻ あまり感じなかった ◻ ほとんど感じなかった ◻ 無回答

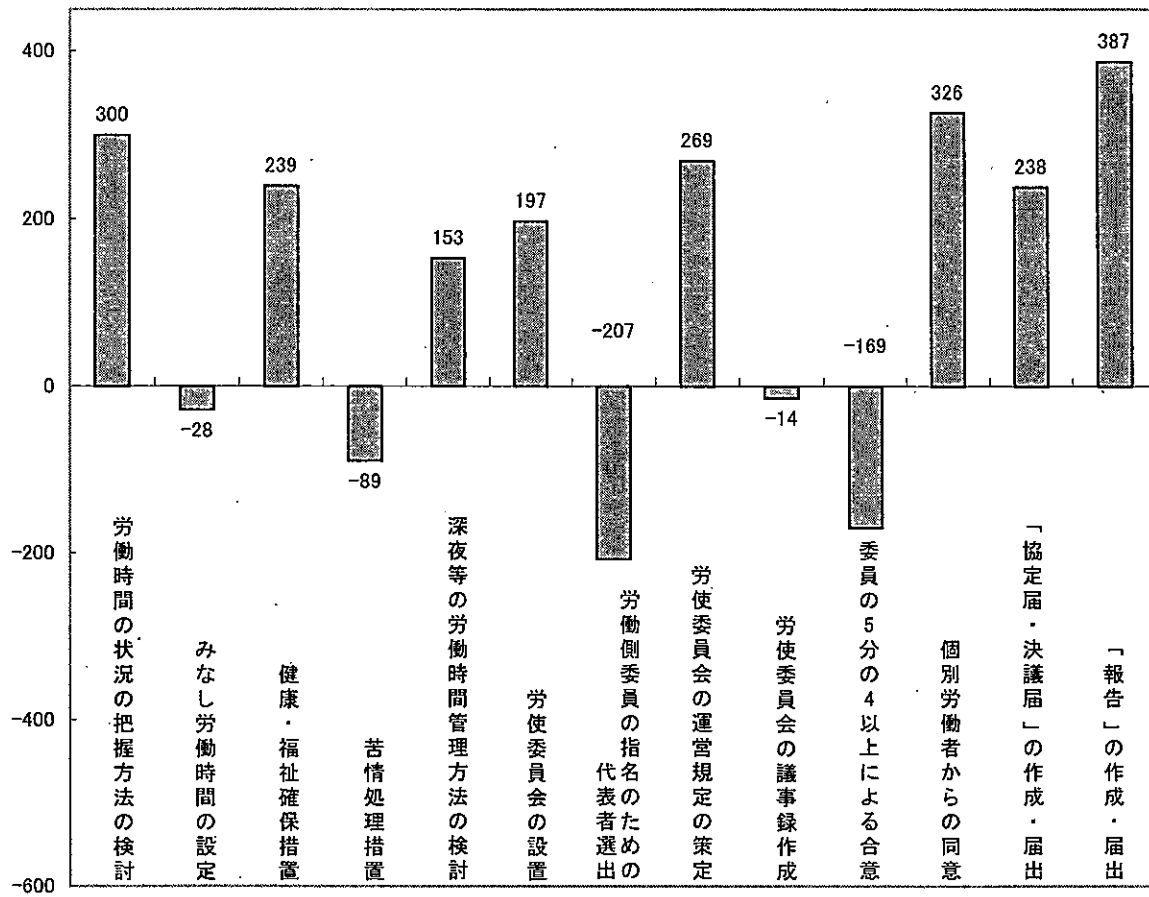
N= 371



7 企画業務型裁量労働制導入手続の煩雑度 [企画業務型]

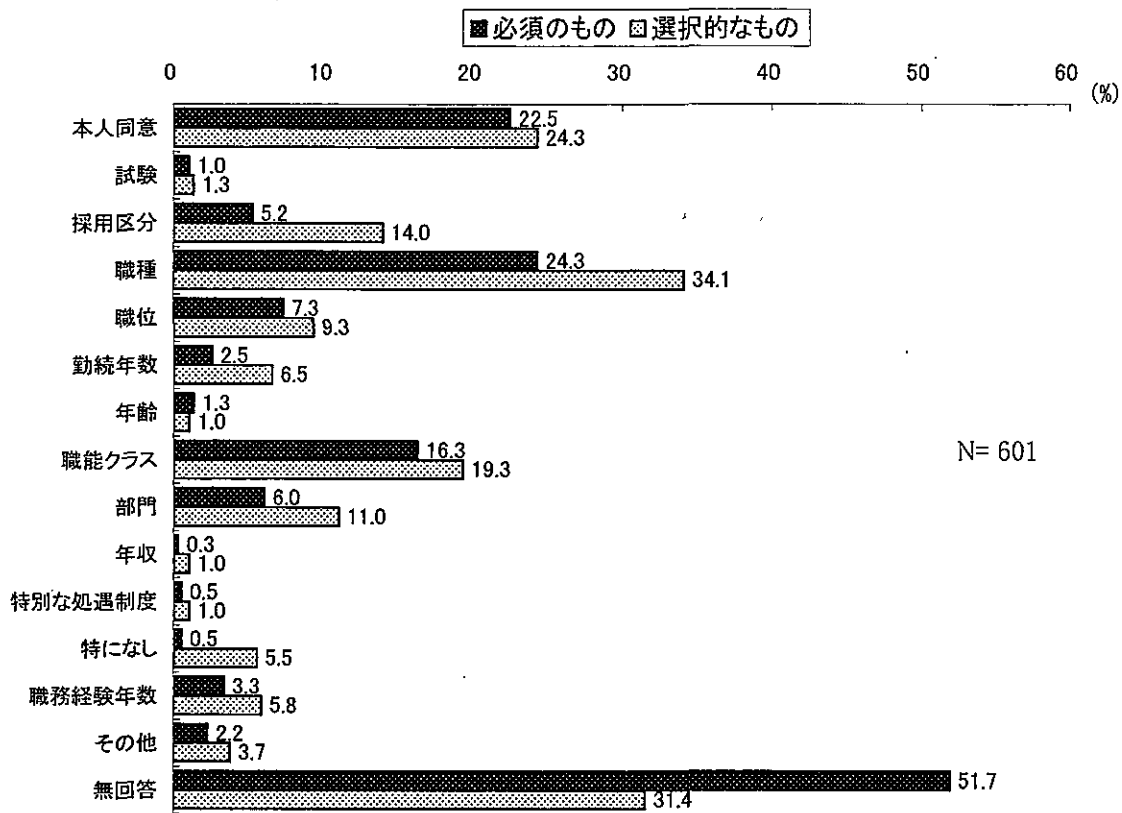
(ポイント)

N=371



(注) 煩雑度 = 手続についての負担を「かなり感じた」事業所数 × 2 + 「ある程度感じた」事業所数 - 「あまり感じなかった」事業所数 - 「ほとんど感じなかった」事業所数 × 2とした

8 裁量労働制の適用対象とするために設けている要件 (M.A) [専門業務型]



9 裁量労働制の適用対象とするために設けている要件 (M.A) [企画業務型]

